



平成31年 4月 10日

第437号

新発田市立東豊小学校

ホームページ <http://toho.shibata.ed.jp>

## どの花見てもきれいだな！

校長 高橋 祐二

♪咲いた、咲いた、チューリップの花が！並んだ並んだ、赤、白、黄色。どの花見てもきれいだな♪

平成31年度（2019年度）、96名の新入生が入学しました。チューリップの花のように、どの子を見ても可愛らしく、キラキラと輝いていました。すくすくと成長を願う保護者の皆様の表情が、とても印象的でした。そして、児童玄関前には、2年生が昨年度植えた一人一鉢のチューリップが芽を出し、大きく成長してきました。子どもたちが、毎朝、大きくなれと願いを込めて水をやっている姿は、親が子どもを育てる姿に映りました。同じ日に植えたチューリップでも、芽の出る時期や成長には差があるものですね。まさしく、全校521名の子どもたちの成長も同じです。

新年度がスタートし、我々職員も、一人一人の子どもたちの個性を大切に、確実に成長できるように一丸となって指導に当たります。保護者、地域の皆様におかれましては、今年度も「つながりを大切に」子どもたちの成長を見守り、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年度の卒業式において、私から卒業生へ次のようなメッセージを贈りました。そして、これは、在校生へのメッセージでもあります。あらためて、5日の始業式において、子どもたちに、こんな東豊小学校の子どもたちであって欲しいと私の願いを述べました。

一つ目は、「あいさつがしっかりとできる人であって欲しい」ということです。2月に、PTAの役員のみなさん、町内会長さんなどの地域の方々、そして、先生方で「東豊小学校の子どもたちが、将来、どんな大人に成長して欲しいか？」という話し合いをしました。その結果、一番多かった意見が、「将来、しっかりとあいさつできる大人に成長して欲しい。」ということでした。

あいさつは、人が人間関係を築いていく上で、最も基本的なことで、重要な態度です。中学校へ進学すれば、違う学校の人たちとも、共に学ぶわけです。また、社会人になっても、人と協働して物事に取り組んでいくには、やはり、あいさつが基本となります。これからも、**学校や家庭で、そして、地域で東豊小学校の自慢であるあいさつと笑顔を忘れず、生活して行って欲しい**と思います。

二つ目は、「人の気持ちをしっかりと考えられる人であって欲しい。」ということ。みなさんは、これから多くの人と出会い、かかわって生きていくことでしょう。そんな中で、人の気持ちを考えながら、行動することは、とても重要なことです。自分のことしか考えない自己中心的な人は、他人から敬遠されることでしょう。また、社会問題となっている「いじめ」は、人の気持ちを考えない行動です。**自分がされて嫌なことはしない、自分がされて嬉しいことは人にしてあげる。**このことを忘れずにいて欲しいと願っています。

そして、最後に、私から切なるお願いです。みなさんは、家族にとっても、私たち職員にとっても、そして地域のみなさんにとっても、かけがえのない、とても大切な存在です。**どうか、自分の命も人の命も大切に生きて行って欲しい**と思います。くれぐれも、**命を大切にしてください。**

5月7日まで、地域ごとでの集団登校です。泣きながら歩いてくる1年生と手をつなぎ、「よく学校まで来たね。偉いね。」と励ます子ども。「しっかりとあいさつするんだよ。」と諭す子ども。「手をしっかりと挙げて横断するんだよ。」と教える子ども。こんな光景が、日々、私の目に留まります。昔から、上級生は下級生の面倒を見る。そして、下級生は上級生から学びを受ける。これからも、異学年のつながりを大切に、全校の子どもたちが仲の良い東豊小学校を目指していきます。

校庭の桜の花が開花をむかえ、新年度がスタートしました。新しい先生、新しい友達に緊張しながらも、張り切って学習活動に取り組んでいる東豊小学校の子どもたちです。